



駅前広場で広報イベントを実施



自衛隊東京地方協力本部台東出張所（所長 齋藤3陸佐）は11月23日、JR御徒町駅前広場の通称「おかちまちパンダ広場」において、台東区募集相談員及び第1後方支援連隊衛生隊の支援を受け広報イベント「自衛隊を知ろう！」を実施した。

本イベントは令和元年に実施して以来約2年ぶりの実施となり延べ983人の来場者を迎え新型コロナウイルス感染症予防処置を講じて、自衛隊の活動を紹介するパネル展示、VR体験、救急車の装備品展示を実施した。

特にVR体験においてはブルーインパルス、空挺降下、各種戦闘車両等の映像を準備し、体験した来場者から感嘆の声が上がっていた。

また、本イベントを通じて台東区募集相談員の皆様との関係強化と地域の皆様に対し自衛隊の活動に対する理解の促進を図ることが出来た。

台東出張所は、今後も各関係協力団体及び地域と一体となった募集広報活動を通じて、自衛隊に対する理解と信頼を深めていけるよう、所員一丸となって邁進していくとしている。



防衛省・自衛隊オフィスツアーを開催

自衛隊東京地方協力本部（本部長 山下陸将補）は11月27日、市ヶ谷駐屯地において、陸上自衛隊サイバー防護隊の幹部自衛官との懇談や、駐屯地施設見学等により自衛隊に対する興味を振作等を図ることを目的として、第9回オフィスツアーを開催した。ツアーには大学3年生ら多くの学生の申込みがあり、34名での実施となった。

当日は、集合した学生を3グループにわけ、それぞれ順番に、陸上自衛隊サイバー防護隊研修、自衛隊の任務、幹部自衛官のキャリアパス等の概要説明、市ヶ谷駐屯地史跡研修を行った。陸上自衛隊サイバー防護隊の研修では、サイバー防護隊の一般幹部のキャリアパスの紹介や、勤務しているサイバー幹部要員から、それぞれの入隊したきっかけやこれまでの経歴、現在の職務についての説明や、懇談が実施された。参加者からの「サイバー要員にはどういったスキルが必要ですか」「どの程度の教育を受けるのですか」等の質問にも、具体例を挙げながら丁寧に回答していた。

東京地本は今年度、大学生が興味・関心の深い災害派遣や、国際平和協力活動についてグループワークや討議をしたり、陸・海・空各自衛隊の部隊や幕僚監部を研修するオフィスツアーを複数回実施した。どのオフィスツアーも大学生の積極的な質問や活動を見ることができ、大変充実したツアーであった。

東京地方協力本部では、今後も様々なオフィスツアーを企画し、大学生らの自衛隊に対する理解を促進するとともに、志願意欲の向上を図っていくとしている。

